

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	コンピュータ教育推進事業（小・中学校）	担当課・係名	学校教育課・教育指導係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	-	事業番号	18
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	-	事業開始年度	-

2. 事業の概要

目的 (何のために)	授業用パソコン等の活用により、ICT教育の充実を図る				
対象 (誰を・何を)	小学校児童、中学校生徒				
内容	授業用パソコン等のリース料、消耗品等維持管理経費の支払い。コンピュータ室のコンピュータ借上げ及びインターネットの環境整備により、一層の情報教育の推進を図る				
根拠法令・条例等	学校教育法施行規則				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,428	1,973	1,944
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	3,428	1,973	1,944
	職員人数 (概算職員数)	人			0.03
	人件費計 (b)	千円			174
総事業費 (a)+(b)	千円	3,428	1,973	2,118	
事業費内訳 H 25 年度	消耗品費：717千円 通信運搬費：293千円 電子計算機借上料：934千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒数	人	2,474	2,456	2,401
	②				
活動指標 (活動量)	① パソコン設置台数	台	176	176	176
	②				
成果指標 (達成度等)	① 児童・生徒一人当たりの事業費	円	1,386	803	882
	② パソコン1台当たりの児童・生徒数	人	14.06	13.95	13.64

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 児童生徒が学習用に使用するコンピュータの整備であり、教育委員会学校教育課で実施することは妥当。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 コンピュータの借り上げについては再リースを繰り返しており、新規機種への入れ替えが必要な時期となっている。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 現在リースをしているコンピュータ等は、既にパフォーマンスが劣っており、また故障も多くなっており、授業に十分活用できていない現状がある。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 現在リースをしているコンピュータ等は、再リースを繰り返しているためリース料金は安くなっているが、その分、それなりの活用にとどまっている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 機種が古くなっているため故障も多く、かえて修繕等にかかるコストが発生してしまっている。
	担当課による評価		<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 ICT教育を推進するという方向性は良いが、コンピュータを活用した授業の改善を進めるためには、リースしている機種の入れ替えが必要である。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	今後は、学習を進めていく中で道具として活用する「コンピュータ教育」という考え方がますます重要となってくる。ポータブルに持ち歩いて活用する環境を整えていく。また、既に整備してある電子黒板やデジタルテレビとの連携活用も進める。
② 平成26年度に着手する事項	新規リースへの切り替えと、目的を明確にした活用、教員への研修。
③ その他（課題、調整事項等）	WINDOWS XPのサポートが切れてしまうため、平成25年度内の補正予算で児童・生徒用コンピュータの入れ替えをしていきたい。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

児童・生徒用コンピュータの更新を実施し、合わせてタブレット型端末を導入し、教育環境の整備を図る。
--